



早い梅雨明けでしたが、異常気象となり雨も随分と降ることが多かった7月。晴れた日を待ち望んで、暑さ対策をしながら夏の遊びをダイナミックにしたり、室内でゆっくりと休息を取りながら過ごしました。



ひよこ(0歳児)

7月に入り、プールや水遊びを経験しています。初めての水遊びはタイに手を入れてバシャバシャと音や心地良さを感じながらダイナミックに遊ぶ姿やプールには少し抵抗があり、泣く子どももいます。また、絵本が大好きで、「だるまさんシリーズ」や「いないいないばあ!」を好み、「はじまるよ」の手遊びが始まると保育士の傍に集まり、一緒に手遊びをしたり身体を左右に揺らしたりし、楽しみにしています。

8月は引き続きプールや水遊び、寒天や片栗粉・水クレヨン、ウォーターベッドなどの夏の遊びを取り入れ、冷たい感触に触れる中で様々な五感を育み、暑い夏を心地良く過ごせるよう計画しています。また、サーキット遊びなど運動遊びも取り入れ、バランス感覚を養ったり、様々な身体の動きが行えるようにしてゆきます。

谷原 瑞希



りす(1歳児)

夏本番…蝉の声が聞こえ本格的な夏のはじまりを感じる中、額に汗をかきながら元気いっぱい遊ぶ子どもたち。

7月、初めてのプール遊びや水風船、寒天などの感触遊び。最初は見ているだけだったり、指先でツンツンと触れたりしていた子どもたちですが、少しずつ興味を示し「冷たい」「キラキラ」など思い思いに言葉や表情に出しながら全身で感触遊びを楽しみました。

今月は五感をたくさん刺激しながら「夏ならではの」遊びや製作活動を楽しめるよう計画しています。生活面では、身の回りのことに興味を持ち少しでも自分でやってみようと思えるような働きかけをして子どもたちの成長を見守ってゆきたいと考えています。

福原 由希



うさぎ(2歳児)

7月は初めてのプール遊びや感触遊びをしました。感触遊びでは片栗粉や小麦粉粘土を実際に作る所から一緒に行い、形や感触がどんどん変わる体験しました。出来上がった後、みんなで触ってみたり、自分で作りたいものを形にして楽しんでいました。また、プールでは、入る前からワクワクし、入水すると最初は戸惑う姿もありましたが徐々に慣れ、思い切り楽しんでいました。

暑さも本番となりますが、子どもたちの体調に留意しつつ引き続きプール遊びや水遊びを楽しみます。また、製作では新しくハサミを使い慣れていけるよう少しずつ行ってゆきたいと思います。

藤尾 美穂



くま(3歳児)

7月はくま組の皆で育てたトマトやピーマンが収穫期を迎え、たくさんの野菜を収穫することができました。初めて収穫ができた時の喜びで溢れた顔はとても素敵でした。また、初めてのプール遊びも始まりました。プールバッグも持ってくるだけでも嬉しいようで、「僕の水着はね…」と友だち同士で紹介し合っています。プールでは水の掛け合いをしたり、気持ちよさを感じたりと様々で、一人ひとりが自分の楽しみ方を見つけているようです。

雨天が重なり、中々プールに入れない日が続きましたが、8月も引き続き入りますので、思い切り夏を楽しめることが出来たらと思っています。プールだけでなく、寒天や氷、泥遊び等、様々な感触遊びも取り入れ、子ども達のイメージを豊かにする活動も合わせて行っていく予定です、お楽しみに♪

善財 舞



ぞう(4歳児)

8月に入り、いよいよ本格的な夏到来ですね。夏を感じる蝉の声がたくさん聞こえ、暑さを感じながらも子どもたちは、暑さに負けず元気いっぱい過ごしています!残念ながら7月は雨天が多く、限られた中での夏らしさを感じる日々でした。8月こそは一番のお楽しみであるプールで、思う存分遊ぶことが出来るよう、子どもたちとお天気の神様に祈のみです。

四季の中でも夏は特に、子どもたちの五感を十分に刺激する絶好のチャンスです!暑い夏こそ経験できる、夏らしいあそびを8月も計画しています。その中で友だちや保育士と一緒に、考えたり工夫することで、更なるあそびの発展へとつなげます。様々な経験の積み重ねが、子どもたちの大きな糧となることを願って、この夏は一人ひとりの経験値UPを目指します!

大杉 静香



きりん(5歳児)

ツマグロヒョウモンに代わり、ザリガニを迎え入れた7月は、子どもたち念願の昆虫館へ行ってきました。図鑑で“調べる”ことが習慣化し、興味や知識の幅も大幅に広がっていた子どもたちですが、見たことのないたくさんの生き物と出会い、目をキラキラさせながら観察していました。施設の方に、珍しいあおむしを触らせてもらったり、ツマグロヒョウモンの飼育の話も聞いてもらったりと、地域のひととの関わりも楽しめたバス遠足となりました。

8月こそは、プールあそびを存分に楽しみたいものです。水の心地良さや、全身を動かす楽しさを味わいつつ、約束事やルールをしっかり守るなどのメリハリが持てるよう導きます。また、友だちとの関わりの中で“相手のキモチ”に気付くだけでなく、自分なりに“受け入れる”ことが出来るよう、クラス全体でもたくさん話し合う機会を作ります。

“ココロも カラダも 大きくなあれ”

山田 実咲



伊丹市 昆虫館



